

くすりを正しく使いましょう

くすりは使用する時間や量に決まりがあります

くすりはきちんと効くように、使用する時間や回数（用法）、使用する量（用量）が決められています。くすりは、医師や薬剤師等からの説明や、製品説明書に記載されたとおりに使用してください。決められた量より多く飲むことによって、副作用や中毒症状が現れてしまうことがあります。また、症状が治まったからといって、くすりの使用をやめると、病気が再発したり完治しないことがあるので、自分で判断せず医師・薬剤師等の専門家に相談しましょう。

薬剤師等のくすりの
専門家はくすりの
相談を受け、適切な
情報提供を行います。

薬剤師の
いくちゃん



くすりのことで悩みを抱えている場合はこちら（東京都保健医療局）

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou_anzen/stop/sodan



薬育（医薬品の正しい使い方を小学生に講義される方へ）についてはこちら（東京都保健医療局）

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou_anzen/stop/kusuri_jirei



【この記事に関する問合せ先】生活環境安全課薬事指導担当

たまり水をなくして蚊の発生を防ごう



蚊の発生が多い季節になってきました。蚊は、刺されるとかゆいだけではなく、日本脳炎やデング熱などの感染症の原因となる病原体も媒介します。

蚊の発生を防ぐために

蚊は水中に卵を産み、幼虫も水中で成長します。そのため、**たまり水**をなくせば、蚊の発生を抑えることができます。蚊は小さなたまり水にも卵を産みます。次のような、水がたまりやすいところをチェックし、不要な物は片付けましょう。

☑ たまり水チェックポイント



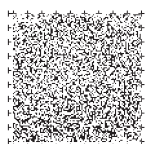
☐ 植木鉢の受け皿



☐ 雨ざらしのバケツ



☐ 空き缶、空き瓶
ペットボトル



さらに詳しい情報は

東京都保健医療局 蚊の対策



【この記事に関する問合せ先】生活環境安全課環境衛生担当